静岡県本部だより

2022.4 VOL. 42

「小さな親切」運動

SMALL KINDNESS MOVEMENT SHIZUOKA

「つなぐ棚田遺産」オフィシャルサポーターに認定（2021.12.24）

2021年度下期の活動報告（2021年10月～2022年3月）

「小さな親切」実行章 P1・2
「あいさつ運動」協力校への感謝状贈呈式 P3
作文コンクール P3・4
2021年度あいさつ運動活動報告 P5・6
クリーン作戦 P7
福祉施設支援事業 P7
里山づくり P8
棚田保全活動 P8
収集活動 P9
「小さな親切」実行章推薦 P10・11

「小さな親切」実行章贈呈事業
「小さな親切」実行章の推薦と贈呈

「小さな親切」実行章は、日常生活に埋もれている「親切な行い」や「思いやりある行い」「心あたたまる行い」をされた方々に感謝の気持ちを込めて贈呈するもので、地域の中に思いやりの心を広げていく活動です。2021年度は、学校から児童・生徒の推薦を数多くいただき、全体では、団体70先、個人113人に実行章を贈ることができました。

「小さな親切」実行章は、いつでも、どなたでも推薦できます。日常の中で何気なく行われている親切な行いを見かけましたら、推薦用紙に「いつ、だれが、どのような親切をされたか」をご記入のうえ、県本部事務局までご連絡ください。推薦用紙は、「小さな親切」運動ホームページまたは本冊子P.11の推薦用紙をご利用ください。

【2021年10月受章】
白脇田んぼアートの会 様
プレゼンター:本間政行支部長
(静岡銀行浜松南支店 支店長)

水田に巨大田んぼアートを作り多くの人を楽しませているほか、地域の幼稚園児にサツマイモやタマネギの育成指導をして一緒に収穫する活動も行っています。

【2021年10月受章】
静岡市立清水桜が丘高等学校 保健委員会 様
プレゼンター:大橋美智子支部長
(静岡銀行清水支店 理事支店長)

コロナ禍の状況を明るく乗り切るため、「新型コロナ川柳」を全校に募集し、選出した作品を商店街のアーケードに飾りつけ、イベントを盛り上げました。

【2021年11月受章】
影原 泉 様・影原弘子 様
プレゼンター:早野亜希子支部長
(静岡銀行名塚支店 支店長)

子どもたちの食育活動に参加し、収穫体験を行う子どもたちを見守るような案山子を作り、畑に隣接するこども園の景観にも寄与しています。

【2021年12月受章】
福島正義 様
プレゼンター:佐々木郁磨支部長
(静岡銀行富塚支店 支店長)

日頃より佐鳴湖でゴミを拾っているほか、子供たちにゴミ事情を伝えるための講師として近隣の小中学校に出向くなど、ゴミを捨てない啓蒙活動を行っています。

【2022年1月受章】
浜名小放課後勉強室 様
プレゼンター:鈴木孝明支部長
(静岡銀行小松支店 支店長)

外国人児童が急増する中、子どもたちが少しでも早く地域や学校に慣れて、日本での生活が楽しくなるように、マンツーマン方式で勉強会を行っています。

【2022年1月受章】
岩崎佑楽 様・折原守仁 様
小出竜矢 様
プレゼンター:静岡市立清水第七中学校
服部重磨 校長

海外から転入2日目の児童が登校途中で迷子になっているところに遭遇し、遠まわりになるにも関わらず小学校まで送ってあげました。

■2021年度下期　実行章受章者一覧

(敬称略)

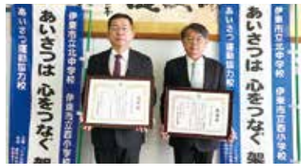
受章月	受章者名・団体名
10月	太田 順子
	岩田 叶愛
	池田 愛奈
	宮原 夢生
	杉山 うめ子
	白脇田んぼアートの会
	静岡市立清水桜が丘高等学校 保健委員会
	浜松市立三ヶ日東小学校
11月	新垣 良彦
	中村 享司
	中村 勝子
	井口 優作
	大石 昭子
	長島 美澄
	片山 進二
	佐野 和夫
	三上 真琴
	影原 泉
	影原 弘子
	上島自治会
	中瀬四区自治会
	中瀬五区自治会
12月	宮崎 浩
	小長谷 勲
	福島 正義
	あたみやげ おつかいし隊
	藤枝市立高洲南小学校
1月	鈴木 巧斗
	今井 勇気
	荻野 祐也
	加藤 帆希
	森 あかり
	齋藤 杏美
	岩崎 佑楽
	折原 守仁
	小出 竜矢
	浅井 雅広
	富士宮市立北山小学校 六年生
	菊川市立河城小学校 六年生
	すみれ会
	野ぎくの会
	ひまわり会
	すそのうぐいす
	中瀬郷土史の会
	浜名小放課後勉強室
2月	中山 紗希
	巻本 将慶
	塚本 果蓮
	レイエス マエミ
	伊藤 衣吹
	山内 果弥
	内山 碧
	水田 花帆
	吉林 綺嵐
	オリベイラ サユキ
	阿部 朋果
	杉山 貴律
	福島 諒雅
	松浦 采那

受章月	受章者名・団体名
2月	増田 有海
	水嶋 智海
	増田 涼
	多々良 柚衣
	福世 美海
	秋野 水那
	野口 結衣
	中村 百花
	レセキ リワイ
	鈴木 日良里
	白井 彩萌
	大石 幸秀
	田積 慎
	堀切 彩華
	五十嵐 豪
	堀 大翔
	特定非営利活動法人 熱海キコリーズ
	静岡英和女学院 中学校・高等学校 2021年度生徒会
	浜松市立追分小学校 六年一組
	湖西市立鷲津小学校 六年一組
	湖西市立鷲津小学校 六年二組
	湖西市立鷲津小学校 六年三組
	湖西市立鷲津小学校 六年四組
	湖西市立鷲津小学校 六年五組
	湖西市立鷲津小学校 六年六組
	湖西市立鷲津小学校 十一組
	O2夢炭会
	静岡市立清水小学校
	松川電気株式会社
	船越校区交通指導隊
	浜松市立船越小学校 児童運営委員
3月	日当 郁夫
	八木 真矢菜
	五味 夏乃子
	髙橋 里名登
	カドカ スハナ
	内田 笑愛
	柴田 虎太朗
	松浦 瑠来
	林 莉緒奈
	川本 実空
	山田 澪
	岸端 彩葉
	庄司 彩夏
	本田 奏良
	風間 優心
	松浦 駿
	ヤナ ジェム
	三輪 綾音
	今村 空輝
	増田 拓真
	藤岡 みや
	梅島 桜蘭
	御殿場市立高根中学校
	伊豆の国市立韮山小学校 一年七組
	伊豆の国市立韮山小学校 三年三組
	伊豆の国市立韮山小学校 四年四組
	大道芸集団「てんとう虫」
	安倍口こども園

青少年心の育成事業
「あいさつ運動」協力校への感謝状贈呈式

「あいさつ運動」協力校への感謝状贈呈式や「小さな親切」作文コンクール入賞者への表彰状贈呈式等を、「第18回フォーラム」にて実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、中止となりました。

今年度は、2020年度から2年間「あいさつ運動」に取り組んでいる協力校13校の4中学校区に訪問し、担当地区の支部長より各校長先生に感謝状を贈呈しました。



■静東地区
伊東市立北中学校
伊東市立西小学校

■静岡市
静岡市立末広中学校
静岡市立番町小学校
静岡市立新通小学校
静岡市立安西小学校

■静西地区
吉田町立吉田中学校
吉田町立住吉小学校
吉田町立中央小学校
吉田町立自彊小学校

■浜松市
浜松市立三方原中学校
浜松市立豊岡小学校
浜松市立三方原小学校

青少年心の育成事業
静岡県本部主催 第9回「小さな親切」作文コンクール

静岡県本部主催第9回「小さな親切」作文コンクールを開催しました。5月下旬に募集要項を発表、今回のテーマは、「小さな親切」「世界との出会い～ありがとう、どういたしまして～」「コロナが教えてくれたこと」でした。

県内の小学生、中学生を対象に募集し、9月中旬に締め切り、168校から3,824編の応募がありました。応募作品の中から、審査員による厳正なる審査の結果、各賞を決定しました。また、3月には作品集を発刊し、県内の小・中学校などに配布しました。

この作文コンクールを通して、子どもたちの心の中に、小さな親切や思いやりの心を感受できる豊かな心を育む活動を続けていきたいと考えています。

静岡県知事賞　山里 尚音さん

静岡県教育長賞　大村 弥市さん

静岡県教育長賞　森 心音さん

「小さな親切」運動静岡県本部賞
宮口 かほさん

「小さな親切」運動静岡県本部賞
石津 はるさん

金賞　岩田 陽和野さん

第9回「小さな親切」作文コンクール入賞・入選者

	賞	学校名	学年	名　前	題　名
小学生の部	静岡県知事賞	浜松市立和地小学校	5年	山里　尚音	世界に伝えたい!!魔法の言葉はCan I do something for you?
	静岡県教育長賞	静岡市立井宮小学校	6年	大村　弥市	「おもう」
	「小さな親切」運動静岡県本部賞	長泉町立長泉小学校	4年	宮口　かほ	やさしくするのは自信があるよ
	金　賞	焼津市立黒石小学校	5年	岩崎　真夕	「日本人のおもてなし」
	金　賞	浜松市立与進小学校	4年	清水　理々	「親切の輪っか」
	金　賞	静岡市立大里西小学校	5年	柳原　琉力	小さな正義
	銀　賞	静岡市立千代田小学校	6年	佐藤　ひなの	「小さな親切」
	銀　賞	浜松市立和地小学校	6年	鈴木　桜	広がれ!小さな親切の輪
	銀　賞	函南町立西小学校	3年	長澤　旺佑	これって親切なのかな
	入　選	浜松市立豊岡小学校	6年	石原　大聖	「相手のことも考えて」
	入　選	長泉町立長泉小学校	1年	大貫　葵天	またあえるかな?
	入　選	焼津市立黒石小学校	5年	小澤　苺華	コロナの長所
	入　選	富士市立富士川第一小学校	6年	重森　美歩	海のプラスチック
	入　選	島田市立初倉小学校	5年	數原　紗也菜	ヘアドネーション体験記
	入　選	磐田市立磐田北小学校	6年	相馬　隆之介	持続可能な親切を
	入　選	浜松市立白脇小学校	2年	田村　惟織	コロナが教えてくれたこと
	入　選	裾野市立南小学校	4年	中畑　美南	まりはごんぎつね
	入　選	磐田市立豊田東小学校	6年	布川　在人	コロナで気がついたこと
	入　選	浜松市立竜禅寺小学校	6年	波多野　頼亜	ぼくは小さな料理人
	入　選	浜松市立井伊谷小学校	5年	溝尻　真帆	小さな親切、大切な思い出
中学生の部	静岡県知事賞	静岡県立浜松西高等学校中等部	1年	岩本　柚季	毎日は小さな幸せが沢山!
	静岡県教育長賞	学校法人星美学園静岡サレジオ中学校	1年	森　心音	コロナが教えてくれたこと
	「小さな親切」運動静岡県本部賞	静岡市立安倍川中学校	3年	石津　はる	ここにいる意味
	金　賞	静岡市立豊田中学校	2年	岩田　陽和野	「迷子になったおかげで」
	金　賞	島田市立六合中学校	2年	杉山　咲太	父の親切と僕の親切
	金　賞	静岡県立浜松西高等学校中等部	3年	髙村　日紀	小さな親切、広がる世界
	銀　賞	静岡市立蒲原中学校	3年	大沼　恵	道路上でのやさしい心
	銀　賞	静岡市立豊田中学校	3年	櫻井　ひらら	コロナ禍の中で感じた「親切」
	銀　賞	静岡市立清水第六中学校	3年	望月　このみ	「未来へ繋ぐ」
	入　選	富士市立大淵中学校	2年	上倉　莉瑠	「この一言」
	入　選	浜松市立三方原中学校	3年	伊藤　ひな	当たり前の親切
	入　選	静岡市立蒲原中学校	3年	伊藤　光羽	私なりの思いやり
	入　選	磐田市立福田中学校	1年	今井　和花	「私が見習った小さな親切」
	入　選	静岡県立浜松西高等学校中等部	2年	宇佐美　夢	人と人との関わり
	入　選	静岡県立清水南高等学校中等部	2年	梅村　実結	一期一会だとしても
	入　選	静岡市立城内中学校	1年	江藤　愛莉	「無限の可能性」
	入　選	函南町立函南中学校	3年	大村　真由	自分を変えるために
	入　選	静岡市立長田南中学校	2年	小田　幸采	小さな安心から学んだこと
	入　選	浜松市立与進中学校	3年	勝又　麻帆	言葉の無い時間
	入　選	静岡市立城内中学校	3年	加藤　未季	私にできること
	入　選	浜松市立開成中学校	3年	加藤　優佳	いつでも手を差し伸べられる人間に
	入　選	静岡市立蒲原中学校	2年	栗原　微始	「優しさのサイン」
	入　選	沼津市立第三中学校	3年	小番　万由佳	あたり前の日常とありがとう
	入　選	浜松市立雄踏中学校	2年	杉山　舜夢	今、大切なこと
	入　選	静岡県立清水南高等学校中等部	2年	杉山　寧音	外国人への道案内
	入　選	静岡市立蒲原中学校	2年	杉山　華乃	「思いやり」と「助け合い」
	入　選	静岡市立蒲原中学校	3年	杉山　りり香	「あたりまえ」
	入　選	静岡市立城内中学校	1年	鈴木　斗偉	コロナ禍で僕ができること
	入　選	静岡県立浜松西高等学校中等部	3年	髙柳　杏胡	当たり前という幸せ
	入　選	静岡市立長田西中学校	1年	殿待　勇太	できなかった親切
	入　選	静岡市立豊田中学校	3年	仲村　起龍	コロナ禍の中で学んだ助け合うこと
	入　選	静岡市立長田南中学校	2年	西井　陽萌	みんなに届け「やさしさ」
	入　選	静岡市立豊田中学校	2年	牧田　陽日	親切への第一歩
	入　選	静岡県立浜松西高等学校中等部	2年	宮本　諒太朗	「変える力」
	入　選	静岡市立蒲原中学校	3年	望月　唯菜	二つの思いやり
	入　選	島田市立島田第一中学校	1年	山内　一輝	観て学んだ親切

（敬称略）

■3月に作品集を発刊しました

作品集には、入賞・入選作品56編と県本部の主な活動の紹介、実行章の推薦用紙が掲載されています。作品集を希望される方は事務局までご連絡ください。この作品集を読まれた多くの皆さまに、子どもたちの純粋な心が届くことを心から願っています。

また、本年も第10回「小さな親切」作文コンクールを開催します。県内小学校、中学校の児童生徒の皆さんの多くの応募をお待ちしています。

青少年心の育成事業
2021年度指定あいさつ運動協力校活動報告

毎年県内の4地区であいさつ運動協力校（実践活動期間：2年間）の活動を応援しています。啓発グッズの横断幕やのぼり旗、タスキを贈り、各中学校区で小学生と中学生が一丸となって明るいあいさつの飛び交うコミュニケーション豊かな地域づくりに取り組んでいます。

2021年度からあいさつ運動に取り組んでいる11校の1年間の活動の様子をご紹介します。

静東地区

南伊豆町立南伊豆中学校

小学校の児童会と連携し、学校近くの交差点であいさつ運動をしています。生徒たちは横断幕とのぼり旗を持ち、小学生と一緒に、登校する児童生徒や通勤途中のドライバーにあいさつと交通安全を呼びかけています。子供たちの姿に、通る車はいつもより優しく走っているように感じます。また、ドライバーの目には、皆の手に握られている横断幕とのぼり旗のメッセージやイラストが映り、車の中にも子供たちの声が届いているようです。

南伊豆町立南中小学校

「0,8,4,0」のつく日を「おはようの日」とし、日替わりで委員長や色リーダーがまとめ役となり、玄関であいさつ運動を行いました。児童集会では、六年生が「親切戦隊六年ジャー」を結成し、「輝くあいさつしたいんジャー」と題して、わかりやすく劇で伝えました。

学期に一度は中学生と連携して通学路に立ち、横断幕やのぼり旗、タスキをつけて呼びかけを行い、あいさつ運動を地域に広げることができました。

南伊豆町立南上小学校

子供たちはタスキをかけ、行き会った人に自分からさわやかなあいさつを投げかけました。6年生の姿を見習い、下級生も後に続いて、さわやかなあいさつを届けています。また、学校に着いてからは玄関前などに立って、登校して来る子どもたちに進んであいさつをしています。地域の方からも「子どもたちのあいさつがいいね。」「6年生がリーダーとして良いお手本になっているね。」という声をいただきました。

静岡市

静岡市立大里中学校

学校目標「進んでみんなと取り組む子どもたち」のもと、主体性と協働性の育成を目指し活動に取り組みました。生徒会の本部役員が1ヵ月に1回「おはようウィーク」と称して、毎朝1週間続けてさわやかなあいさつを行いました。また、PTAによる「あいさつ運動」も行い、生徒たちに声かけをしました。毎週月曜日の朝に3年生と1年生の有志数名が、学区内外の小学校に訪問し、登校する小学生に丁寧に声をかけ、あいさつ運動を行いました。

静岡市立中田小学校

あいさつは人と人とを温かく結びつける大事なものとして捉えています。今年度は、生徒会、児童会が「より良いあいさつ」を共通のチャレンジ目標として掲げ、取り組んでいます。子どもたちが考えた「あいさつ広め隊」は、児童会役員だけでなく、1年生から6年生までの有志が250人も集まり、自主的に校内をあいさつして回る素敵な活動になりました。今後も、さらなるアイデアあふれる活動が生まれてくることを楽しみにしています。

静岡市立大里西小学校

児童会が中心となり、「あいさつでつながる笑顔ひろがる輪」のスローガンのもと、全校児童であいさつ運動に取り組んでいます。毎週月・水曜日には正門でタスキやのぼり旗を持ち、登校してくる児童や地域の方々にあいさつをしています。また、6月には大里中学校区の小・中学校の児童会、生徒会がズームを使い、それぞれの学校の活動の様子を紹介し合いました。あいさつの輪や笑顔が学校や地域に広がって行くよう取り組んで行きます。

静西地区

湖西市立岡崎中学校

毎週水曜日の朝、生徒会を中心としたあいさつ運動を行いました。生徒会役員を中心に、各学級からあいさつ運動委員を募集し、総勢109名の組織となりました。月の中で、第1週～第4週でメンバーが分担し、継続的に活発なあいさつ運動ができました。さらに、給食時の放送では、毎週、生徒会役員があいさつ運動についてのお知らせをすることで、全校生徒のあいさつ運動に対する意識も高まり、学校全体にさわやかな雰囲気が広がってきています。

湖西市立岡崎小学校

温かな人間関係づくりの基本であるあいさつを「こころの基礎づくり」の中心に位置づけています。

今年度は、児童会生活委員会が中心となり、スローガン「深めよう　人との絆　あいさつで」ののぼり旗を持ち、タスキをかけて大きな声で「あいさつキャンペーン」を推進しました。児童会本部も学校のマスコットである「オカニコくん」「オカニコッコちゃん」「トキワジー」の着ぐるみを身に付けて、あいさつ運動を盛り上げました。

浜松市

浜松市立八幡中学校

生徒会の組織の生活委員会が中心となり、4月の重点活動に「あいさつ運動強化月間」として取り組みました。明るい学校づくりに向けて「相手の目を見て」「あいさつしよう」と呼びかけると共に標語づくりに全校生徒で取り組みました。

昇降口では、当番制であいさつ運動が展開され、毎朝さわやかな出会いの場になりました。11月には地域住民や保護者を交えてのあいさつ運動が学区内で行われ、のぼり旗を使用して、お互いの胸襟を開いた言葉がけがこだましました。

浜松市立東小学校

年度初めに、児童会運営委員が「あいさつ運動協力校」に指定されたことを紹介し、全校であいさつ運動を盛り上げようと呼びかけました。それから毎朝、運営委員が中心となって昇降口前であいさつ運動を行っています。年3回の「あいさつ強化月間」には、全校生徒が自分のあいさつを振り返りました。また、全クラスにタスキを配布し、日中もあいさつ運動を行うなど、進んで元気よくあいさつする児童が少しずつ増え、あいさつに対する意識の向上がみられました。

浜松市立船越小学校

運営委員会の児童が「あいさつレンジャー」として、毎朝当番制で正門に立ち、あいさつ運動を行いました。また、各学級にあいさつをしてまわったり、あいさつの手本となる児童を放送等で称揚するなど、気持ちの良いあいさつを広めました。さらに、全校児童に「あいさつマスターカード」というシール台紙を配布し、参加した児童の意欲を高める工夫をしました。

委員会は気持ちの良いあいさつについて話し合い、進んであいさつをしたいと思える工夫を考えて実践しました。

環境美化事業
第2回・第3回クリーン作戦の実施（10月～1月）

第2回・第3回クリーン作戦は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、多くの活動が中止となりました。

活動が制限される中、十分な感染症対策をとりながら、河川海岸の清掃活動や商店街、公園、駅周辺などのできる範囲で活動を実施し、13会場で462人が参加しました。

焼津市・焼津支部（2021.11.21）
ディスカバリーパーク焼津周辺の清掃

浜松市中区・浜松営業部（2021.11.21）
天竜川河川敷の清掃

下田市・下田支部（2021.11.28）
南伊豆町町有林の植樹

榛原郡・吉田支部（2021.12.11）
吉田町防災公園の清掃・利用体験

浜松市南区・可美支部（2022.1.15）
若林地区周辺の清掃

袋井市・袋井西支部（2022.1.15）
堀越地区道路周辺の清掃・草取り

浜松市天竜区・西鹿島支部（2022.1.15）
西鹿島駅周辺の清掃

浜松市天竜区・天竜支部（2022.1.15）
クローバー通りの清掃

浜松市南区・浜松南支部（2022.1.15）
三島町周辺の清掃

福祉施設支援事業
車いす等寄贈と施設内奉仕活動

クリーン作戦の一環として、福祉施設の奉仕活動を行い、車いす等の寄贈も行っています。

2021年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、奉仕活動は中止としましたが、寄贈品は、車いすのほか、介護する方々や利用者にとって必要な医療機器を施設のご希望に沿って寄贈しました。

環境保全事業
里山づくり（植樹や森林整備の活動）

次世代に残す里山づくりを目指し、静岡県環境ふれあい課が主催する森づくり県民大作戦に参加する団体と連携して、植樹や森林整備の活動を実施しています。2021年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、ほとんどの活動が中止となりました。下期の活動は1会場で193人が参加しました。

静岡市・しずはた支部（2021.11.21）
賤機山に花の咲く樹を育てる会
賤機山／植樹

環境保全事業
棚田保全活動

静岡県本部では、農林水産省が実施する「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」のオフィシャルサポーターに認定されました。

これは、棚田地域の活性化や棚田の有する多面的な機能への理解を深めてもらうことを目的しており、農林水産省では、本取り組みのさらなる促進をめざして、新たに「オフィシャルサポーター制度」を創設したものです。

静岡県本部では、これまでも環境保全活動の一環として、松崎町の「石部棚田」、菊川市の「せんがまち棚田」のオーナーとなって棚田の保全活動に参加するとともに、収穫したお米を児童福祉施設などに寄贈してきました。

今回、オフィシャルサポーターに認定されたことで、従来の活動に加えて「つなぐ棚田遺産」の周知活動を展開するなど、棚田の保全ならびに棚田地域の振興に取り組んでいきます。

ぜひ、皆さんも、地域の美しい景観を守り、育てるための本活動を応援してください。

■「つなぐ棚田遺産」オフィシャルサポーターに認定

農林水産省「つなぐ棚田遺産～ふるさとの誇りを未来へ～」
https:www.maff.go.jp/j/nousin/tanada/tanadasen.html

つなぐ棚田遺産
ロゴマーク

認定証

■石部棚田（松崎町・松崎支部）

聖和保育園でのお米の贈呈式（2021.11.11）

■せんがまち棚田（菊川市・菊川支部）

東遠学園でのお米の贈呈式（2021.12.6）

心の国際交流事業
使用済切手と書き損じハガキの収集活動

使用済切手と書き損じハガキの収集活動を行なっています。2021年度も多くの皆さまのご協力をいただき、使用済切手478先から約162Kg、書き損じハガキ6,438枚を集めることができました。

使用済切手は、特定非営利活動法人日本国際ボランティアセンターに贈り、途上国の農業支援などの国際協力活動をサポートします。書き損じハガキは、公益社団法人シャンティ国際ボランティア会へ贈り、途上国の幼児教育における質の改善事業に活用されます。

収集の注意点

使用済切手

①切手のまわり5mm程度の余白を残してください。
②切手が複数枚の場合はまとめて切り取ってください。
③封筒の裏側は切り取り、表面だけを送ってください。
④紙から切手を剥がさないでください。
⑤日本切手と、外国切手に分けてください。
⑥以下のものは収集対象外です。
- ●破れている切手
- ●まわりのギザギザが欠けているもの
- ●セロハンテープが貼られている切手
- ●メータースタンプ、料金後納や別納
- ●消印以外の汚れがある切手
- ●折り目がある切手

静岡県地域福祉課の皆さま

私たちは、「小さな親切」運動の一環として、使用済切手の収集を行っています。途上国の皆さまを支援するため、身近でできる社会貢献として、今後も収集活動を継続してまいります。

書き損じハガキ

①ハガキの表や裏を書き損じた、あるいは未使用のハガキで、未投函のものが対象です。
②ハガキに住所や名前の個人情報の記入がある場合は、必ずマジック等で塗りつぶしてください。
③切手部分に汚損があるものは対象外です。

心の国際交流事業
ベルマーク収集活動

年間を通して、ベルマークの収集活動を行っています。皆さまからお送りいただいたベルマークは、浜松市のオイスカ高校のベルマーク預金を通じて、途上国の植林と環境教育支援に活用されます。

ベルマークの収集はどなたでも気軽にできるボランティアです。仕分け作業や集計作業は必要ありませんので、ベルマークを切り取って袋に入れてお送りください。

株式会社河合楽器製作所の皆さま

私たちは国際交流事業の一環としての「小さな親切」運動に共鳴し、環境美化・使用済切手・ベルマークの収集活動に参加してまいりました。微力ではありますが、これからも広い視野と感謝の気持ちをもって活動を続けていきたいと思います。

収集物の送付方法

静岡銀行本・支店窓口へお持ちいただく場合

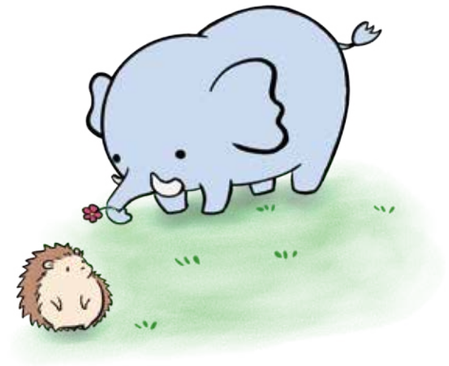
- ●封筒などに入れ、宛名を「小さな親切運動静岡県本部行き」とし「ご住所、お名前」をご記入のうえ窓口係へお渡しください。

事務局へ郵送する場合

- ●封筒などに入れ、「ご住所、お名前」をご記入のうえ「小さな親切」運動静岡県本部までお送りください。

「小さな親切」実行章の贈呈

心あたたまる親切に出会ったら推薦（すいせん）してください



「小さな親切」実行章は、日常生活のさりげない親切や心あたたまる行いに、「ありがとう」の感謝の気持ちを込めて表彰するものです。この活動は「小さな親切」運動が発足した昭和38年以来続けている大切な活動の一つで、実行章を贈ることで地域社会に「思いやりの心」を広めることを目指しています。

「小さな親切」実行章の推薦は、いつでも、どなたでも行うことができます。皆さまが受けた親切だけでなく、見たり、聞いたりしたことでもかまいません。日常生活の中で何気なく行われている親切な行いを見かけましたら、推薦用紙に「いつ・だれが・どのような親切を行ったか」をご記入の上、「小さな親切」運動静岡県本部までお送りください。皆さまからの推薦をお待ちしております。

「小さな親切」実行章の推薦から受章までのながれ

1 親切な方を見かけたら親切に出会ったら

清掃活動と美化活動
- ・公道、駅周辺、河川、海岸などの清掃をしている。
- ・花を植栽し、皆を楽しませている。

見守り活動とパトロール
- ・子ども達の通学の見守り活動をしている。
- ・お年寄り宅を訪問し、安否確認をしている。

慰問活動
- ・福祉施設や病院などを訪問し、交流活動を行っている。

手助け
- ・荷物を運んだり、道案内など、困っている人の手助けをした。

2 推薦文を書く

いつ・だれが・どのような親切を行ったかを記入し、以下のいずれかの方法で「小さな親切」運動静岡県本部へ送ってください。

FAXで送る

郵便で送る

3 受章の決定・発表・贈呈

- ・推薦用紙を「小さな親切」運動静岡県本部から「小さな親切」運動本部（東京）へ
- ↓
- ・本部（東京）の選考委員会にて受章者を決定
- ↓
- ・受章者と推薦者に静岡県本部からご連絡
- ↓
- ・受章された方へ賞状を贈呈

「小さな親切」実行章推薦用紙

応募期限はありません。いつでもご推薦ください。　　推薦日　　年　　月　　日

個　人	団　体
氏名（ふりがな） （　　歳）	団体名（ふりがな） 代表者氏名（ふりがな）
自宅住所　〒　　－	連絡先住所　〒　　－
TEL：	TEL：
所属先 所在地	人数：　　名 内訳：大　人（　　名）　高　校　生（　　名） 中学生（　　名）　小学生以下（　　名）

実行内容（活動写真や新聞記事などがありましたら添付してください）

期　間 （いつから）	
実行場所 （どこで）	

推薦者

氏名	住所　〒　　－
TEL：	FAX：

実行章の贈呈方法について（希望方法のいずれかに○印をおつけください）

1．推薦者から贈呈	2．受章者宛に直送	3．「小さな親切」運動静岡県本部から贈呈

＜個人情報の取扱について＞
推薦用紙に記入された個人情報は、「小さな親切」運動の活動（含、新聞掲載）以外には使用いたしません。

後援：静岡県

【静岡県本部事務局】
〒424-8677 静岡市清水区草薙北2番1号 静銀総合サービス(株)内
TEL.054-347-3712　FAX.054-344-0401
ホームページアドレス http://www.across.or.jp/kindness/

本誌に使用の新聞記事・写真などは、各新聞社の許諾を得て転載しています。無断で複製、送信、出版、頒布、翻案等著作権を侵害する一切の行為を禁止します。